

2液形厚膜エポキシ樹脂塗り床材

ユカトップローラーエポⅡ

環境

高光沢

耐久性

耐摩耗性

耐薬品性

防滑

防塵

美装



ローラー塗装で鏡面のような厚膜仕上げができる塗り床材です。

特長

- 耐摩耗性、耐衝撃性、耐油性、耐薬品性に優れ、工場内の過酷な環境でも高い耐久性を発揮する塗り床材です。
- ローラーで厚膜施工ができ、自己流動性により平滑でシームレスな高光沢の塗膜が得られます。
- 溶剤を限りなく減らした設計であるため、旧塗膜のちぢみや溶解を気にすることなく塗替えができます。
- 鉛・クロムフリー、ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を満たしています。

用途

- 化学工場/機械工場/自動車整備工場/精密工場/食品工場
- 事務所/倉庫/機械室/電気室/実験室/廊下

商品構成(塗装面積)

商品名	荷姿	セット内容		混合比 (重量比)	備考
		主剤	硬化剤 (一般用・冬期用)		
ユカトップ ローラーエポⅡ	15kgセット	12kg	3kg	主剤:硬化剤 4:1	塗装面積 23㎡/15kgセット 5㎡/3.7kgセット (塗替え時)
	3.75kgセット	3kg	0.75kg		

商品名	荷姿	セット内容		混合比 (重量比)	備考
		A剤	B剤		
速乾ユカトップE プライマーⅡ	15kgセット	12kg	3kg	A剤:B剤 4:1	塗装面積 100㎡/15kgセット 26㎡/4kgセット
	4kgセット	3.2kg	0.8kg		
SPフロアー骨材 No.5	25kg			—	防滑仕上げ用骨材

使用可能時間(ポットライフ)

	5℃	10℃	20℃	30℃
硬化剤(一般用)	-	-	30分	15分
冬期用硬化剤	40分	20分	10分	-

カラーバリエーション

F-10 フォレストグリーン



F-11 グラスグリーン



F-12 アーモンドグリーン



F-14 レンガ



F-16 ライトブラウン



F-17 サンドベージュ



F-19 モスグレー



F-20 フレッシュグリーン



F-21 ライトグレー



F-22 キャラメルベージュ



F-23 リーフグリーン



F-24 ブルーグレー



*この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。色相はシントーフロアーシリーズカラーカードをご覧ください。
*その他ご指定の色に調色することも可能です。



神東塗料

標準塗装仕様

▶新設 コーティング工法(平滑仕上げ) 膜厚1.0mm

工 程	使用塗料(希釈剤)	膜厚(mm)	希釈率(%)	標準塗布量(kg/m ² /回)	塗 回 数	工程間隔(20℃)	塗布方法
下 地 調 整	●モルタル、コンクリートの含水率は10%以下、pH10以下を確認する。(ケット科学研究所製Hi500シリーズの場合は、含水率5%以下を確認する。) ●全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、表面に付着しているエフロレセン、脆弱下地(レイタス)、突起物、浮き部分を除去する。 ●付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 ●ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 ●下地の凸部は除去する。凹部・ヘアークラック等は下塗り後、塗膜が乾燥していることを確認して速乾ユカトップパテで補修する。						
下 塗 り	速乾ユカトッププライマーⅡ	-	無希釈	0.12~0.15	1	3時間~7日	刷毛・短毛ローラー
上 塗 り - 1	ユカトップローラーエポⅡ 100部 SPフロアー骨材 No.7 30部	0.5	無希釈	0.65	1	1日~7日	刷毛・短毛ローラー
下 塗 り - 2	ユカトップローラーエポⅡ	0.5	無希釈	0.65	1	24時間以上 (歩行可能)	刷毛・短毛ローラー

※下塗りには、ユカトップ油面プライマーⅡ、潤滑面用プライマーⅡも使用できます。

※防汚仕上げの場合は、上塗り-1でSPフロアー骨材No.7を調整せずに0.4kg/m²塗装し、塗装直後に骨材(SPFloor骨材No.5)を0.2~0.3kg/m²散布してください。
骨材散布後1~7日以内に上塗り-2を0.4kg/m²塗装してください。

▶塗替 コーティング工法(平滑仕上げ) 膜厚0.5mm

工 程	使用塗料(希釈剤)	膜厚(mm)	希釈率(%)	標準塗布量(kg/m ² /回)	塗 回 数	工程間隔(20℃)	塗布方法
下 地 調 整	●旧塗膜は全面ポリッシャー、サンダー等で処理し、脆弱部、浮き塗膜はケレンにて除去する。 ●付着している汚れ、グリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて取り除き、水洗いし、下地を十分乾燥させる。 ●ごみ、ほこり等は清掃し取り除く。 ●下地の凸部分は除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修する。						
上 塗 り	ユカトップローラーエポⅡ	0.5	無希釈	0.65	1	24時間以上 (歩行可能)	刷毛・短毛ローラー

塗装方法

1 主剤：硬化剤 = 4：1の割合で混合し、電動攪拌機にて十分に混合する。

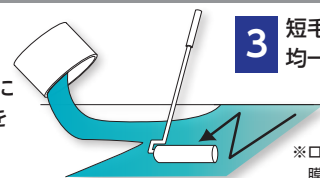
気温が高かったり、施工が難しい箇所を施工する場合は、混合量を少なくする。
その場合は、はかりを用いて主剤/硬化剤の混合比率を正確に秤量すること。



混合後ただちに
混合した材料は缶の中に
絶対放置しないでください。

2 施工箇所に塗布量約0.65kg/m²になるよう材料をまき広げる。

混合した材料を缶内に放置すると、急激な反応で発熱します。混合後は直ちに施工箇所にまいてください。



3 短毛ローラーで均一に塗り広げる。

※ローラーで擦りすぎると、膜厚が薄くなります。材料を広げる感覚で塗布してください。

注意事項

■施工上の注意事項

- 1 気温および被塗面温度が5℃以下のときは塗装を避けてください。低温時には乾燥遅延など不具合が生じやすくなります。やむを得ず低温時に塗装するときは採暖対策が必要です。
- 2 湿度85%RH以上のときは塗装を避けてください。被塗面の水分によって、乾燥遅延や塗膜性能を発揮できないことがあります。
- 3 結露が予測される場合は塗装を避けてください。(特に早朝の結露、夕刻の降露には注意してください。)
- 4 ワックス等が施工されていないか確認してください。施工されている場合は、専用剥離剤で除去し、水洗いを行って十分に乾燥させてください。
- 5 付着しているグリス、油脂等はユカトップ油面クリーナーを用いて除去し、水洗いを行って十分に乾燥させてください。
- 6 下地の凸部は研磨機等で除去し、凹部、ヘアークラック等はユカトップ速乾パテ等で補修してください。
- 7 コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または5%以下(ケット科学研究所製Hi500シリーズ)で、下地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。(打設後養生期間の目安はコンクリートの場合1か月以上、モルタルの場合夏期で14日以上、冬期で21日以上です。)
- 8 研削機などを使用する際には、騒音や粉じん対策を十分にしてください。
- 9 軽量コンクリートへの塗装は避けてください。
- 10 熱湯が直接かかる場所への塗装は避けてください。
- 11 屋外への施工は避けてください。
- 12 特殊コンクリート(カラーコンクリート、フェロコン、浸透型表面強化剤で処理されたコンクリート等)への施工は、下地調整としてライナックス研磨機等により表面目粗しを行い、下塗りとして潤滑面用プライマーⅡを塗付してください。
- 13 塗装時の旧塗膜では、一部のウレタン樹脂系床塗材との付着相性が合わない場合があります。処理方法についてはお問い合わせください。
- 14 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。

■取扱に関する注意

- 1 周辺への火気、スパーク、高温物には注意して、火気厳禁としてください。
- 2 静電気対策のため、使用する装置などは接地してください。
- 3 塗料取り扱いの際は換気を十分にしてください。
- 4 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないようご注意ください。
- 5 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
- 6 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
- 7 エポキシ樹脂系塗料などは、体質により皮膚接触による感作性を引き起こすことがあります。
- 8 容器の蓋を開ける際には、缶の内圧が上がっている場合があります。開缶時は十分に気をつけてください。
- 9 塗料開缶は原則として使用する直前にを行い、開缶したものはその日のうちにご使用ください。
- 10 塗料は使用する前に電動攪拌機等を用いて、塗料缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。
- 11 主剤/硬化剤は所定の割合で混合し、電動攪拌機等を用いて十分に混ぜてください。
- 12 主剤/硬化剤混合後は缶内に放置しないでください。急激な反応で発熱します。混合後は直ちに施工箇所にまいてください。
- 13 塗料取り扱い後および塗装作業後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。

- 14 使用した塗装用具は直ちにラッカーシンナー等で洗浄してください。
- 15 塗料の保管は、承認を受けた危険物倉庫に貯蔵・管理することが必要です。

■塗装に関わる注意事項

- 1 無希釈で塗装してください。溶剤が混入すると膜内残留により硬度発現遅延など不具合の原因になります。
- 2 ユカトップローラーエポⅡは使用可能時間が短いため、1セットずつ使い切ってください。
- 3 気温・被塗面温度が高い場合や、補修箇所などの狭小面積を塗装する場合には、少量ずつ割合で塗装してください。その際には、はかりを用いて主剤/硬化剤を秤量し、規定混合比で混合してください。
- 4 主剤/硬化剤混合後短時間で発熱や硬化による増粘・ゲル化があります。割合した塗料は速やかに缶内から、あらかじめスポンジ割りした箇所にまき広げてください。
- 5 まき広げた塗料は、ただちにローラーで塗り広げてください。ローラーは短毛ローラーを使用してください。
- 6 ロットにより色相差が生じる場合がありますので、最終仕上げ工程は同一ロットで塗装してください。
- 7 使用可能時間内に使い切るようにしてください。
- 8 仕様の数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。
- 9 塗装時および乾燥中は十分に換気を行ってください。
- 10 冬期施工時は硬化が進みにくく、本来の性能が発揮されるまでに長時間を要する場合があります。施工後の清掃等には、ホウキ、化学モップを使用し、水拭きは避けてください。
- 11 軽歩行は最終塗装後24時間(20℃)から可能ですが、早期解放は、塗膜粘着、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じる場合があるため、重量物等通行開放までの養生時間は3日(20℃)以上あけてください。

■緊急時の対応

- 1 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 3 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 4 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 5 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウェス)などで拭き取ってください。
- 6 万が一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。

■廃棄

- 1 塗料ダスト、塗料カス、使用済ウェスなどは廃棄するまで水につけておいてください。
- 2 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウェスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保管

- 1 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
- 2 子供の手の届かない場所に保管してください。
- 3 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
- 4 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照ください。
※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。

くらし ゆたかに あざやかに 未来を創造するコーティング



神 東 塗 料

本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06) 6426-3355 (代) FAX (06) 6429-6188 (代)

製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123) 32-0431 FAX (0123) 34-6199

東 北 ☎(022) 285-7915 FAX (022) 285-7813

東 京 ☎(03) 5690-0544 FAX (03) 5690-0553

静 岡 ☎(054) 245-0135 FAX (054) 247-4091

北 陸 ☎(076) 262-1305 FAX (076) 262-1315

名 古 屋 ☎(052) 612-0293 FAX (052) 612-0318

大 阪 ☎(06) 6426-3763 FAX (06) 6429-6268

中 国 ☎(082) 264-6822 FAX (082) 264-6821

四 国 ☎(0897) 65-4550 FAX (0897) 65-4576

九 州 ☎(092) 472-2222 FAX (092) 473-5777

<https://www.shintopaint.co.jp/>

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。

このパンフレットは、環境に配慮した植物油インキを使用しています。



TS0623AT-1-01